

令和4年度 第5回部長会（概要報告）

- ・日 時 令和4年8月1日（月）午前9時00分～
 - ・場 所 八尾市役所第2委員会室
 - ・出席者 市長・副市長・教育長・病院事業管理者・水道事業管理者・各部局長・理事等
-

【市長あいさつ】

令和4年度、第5回部長会の開会にあたり、一言ご挨拶させていただきます。

酷暑の中、また、新型コロナの感染者が急増する中、日々、業務にあたっていただき感謝申し上げます。

去る7月10日の参議院選挙では、新たに期日前投票所を増設し、多くの職員の皆さんに従事していただき大変ご苦労様でした。無事に終えることができ、改めて感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症を巡っては、現在の第7波で、これまで経験したことがない規模の陽性者数を記録しています。「社会経済活動の維持と感染対策の両立」という難しい課題を前に、特段の行動制限がない中、感染が爆発しています。多くの方が、発熱外来や検査機関に殺到するという状況の中、病床利用率も高まっていることから、大阪府は医療非常事態宣言を発出しました。ワクチンの接種促進や、重症化リスクの高い高齢者などに不要不急の外出を控えるよう、要請されています。本市としては、引き続き各部署がしっかりと連携し、感染拡大防止策はもとより、ワクチンの接種促進など、本市が持てる権限を総動員して、対策を進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いしております。

長期化するコロナ禍の中、保健所や市立病院をはじめ、消防、保育、教育、環境など、全庁を挙げて対応にあたっていただき、また各部署に保健所への応援をお願いしているところであります。職員の皆さんには、担当業務がある中、大変ご苦労をおかけしておりますが、引き続きよろしくお願いいたします。

多くの職員が新型コロナに感染し、または、濃厚接触者となり自宅待機する例が増えています。このような時こそ、平時の業務にしっかりと優先順位を付けて、「業務継続するための仕事の仕方」を全ての職員が意識して、考えていただきたいと思っております。行政改革の観点からも、部局長の皆さんには、業務継続を考え実践できる職場づくりの先頭に立っていただくようお願いしております。

一方、足元の経済状況は、光熱費の高騰など物価高が続いており、今後も市民生活に影響が及ぶと考えています。本市は、物価高対策として市民全員を対象にした5,000円の支援金の給付や、水道の基本料金の4か月間の減免措置などを実施しますが、引き続き、各部署の皆さんには、市民生活の現状とニーズをしっかりと捉えていただき、積極的に対策を提案していただくようお願いしております。

7月22日の東京ドームの都市対抗野球大会では、八尾市代表としてミキハウスが2年連続して出場されました。初戦におきましては、私も東京ドームに応援に行き、ミキハウスの選手や関係者の皆さんと交流を図ってまいりましたが、残念ながら2回戦では、今年優勝したエネオスに敗退という結果になりました。また、一昨日のプリズムホールのリニューアルオープンの式典や各地区の様々な行事に参加し、市民の皆さんとお話する機会がありました。

コロナ禍で様々な制約を受けながらも、活躍される市民の皆さんと対話し、我々こそが市民の皆さんに寄り添い、市民の命と生活を守らなければならないと、あらためて実感いたしました。ど

うか職員の皆さんも、引き続き市民の立場に立ち、業務に当たっていただくようお願いしておきます。

酷暑が続いておりますので、皆さん健康には十分気を付けていただきますようお願いし、開会のあいさつといたします。

案件

1 大阪 880 万人訓練について

危機管理監

例年、大阪府が実施している 880 万人訓練が9月2日に実施されます。訓練用の緊急地震速報メール、エリアメールが発信され、身を守る行動をとっていただくなどの訓練を通じて、どのように行動するかを考える機会としているところです。

本市におきましても、880 万人訓練に参加するとともに、本市の訓練も合わせて実施しますので、緊急地震速報メール、エリアメール受信時には、業務に支障のない範囲で、訓練行動の実施をお願いします。

また、所管施設への周知についてもご協力をお願いします。詳しい内容につきましては、この後全課メール等にてお知らせします。

【植島副市長】 災害や地震等が多発している状況ですので、職員の皆さんにも訓練等を通じて災害に対する関心や意識を継続して持っていただくようお願いいたします。

2 大松市長との懇談会の開催について

政策企画部長

昨年度も開催させていただいたものでございますが、担当業務における行政 DX や業務改善等について、市長と広く意見交換していただくものです。

開催は8月の後半を予定しており、対象者については、今回、「情報システム管理主任」を追加し、「各係行政改革推進員」のどちらか 1 名としていますが、できる限り、昨年度の市長懇談会に出席した職員以外からの選出をお願いいたします。詳細につきましてはあらためて、ご案内させていただきます。

各部局長におかれては、業務ご多忙のところ恐れ入りますが、懇談会の趣旨をご理解頂き、対象職員の出席に格段のご配慮を賜りますよう、よろしく申し上げます。

特に意見なし

3 行政 DX 関連研修等について

政策企画部長

まず、昨年 10 月より稼働しています電子申請システムにつきましては、5月部長会、6月のICT推進本部会議以降、6月末時点で 56 件、直近の7月 29 日時点では 60 件と、増加してきています。今後、更なる手続き数の増加や内容の改善等にも適用いただけるよう、電子申請システム操作研修を開催させていただくものです。実施日等は記載のとおりですが、時間や定員など、詳細は改めてご案内させていただきます。この研修は、自治体デジタル人材育成の一環も兼ねてますので、部局長におかれては、幅広い参加の周知をお願いします。

なお、7月 13 日に「電子申請に係る資料提供について」の情報提供をさせて頂いていますが、令和2年度実施しました「手続きのオンライン化」の調査結果のほか、本市と同じ電子申請システムを導入している府内各市のご案内となっており、市民の利便性の向上を図るために、これらを参考としていただき、積極的に電子申請の手続きを増やしていただきますよう、重ねてお願いします。

次に、RPAにつきましては、導入に際して所属担当者の負担が相当に大きい中、適用事務の拡大を図っていただいておりますが、今後所属の負担を少しでも軽減できるよう、J-LIS開催のウェブ研修についてのご案内をさせていただきます。こちらも自治体デジタル人材育成の一環も兼ねていますので、幅広い参加の周知をお願いします。

また7月21日には「RPA及びAI-OCRの適用検討について」のご依頼もさせていただきますので、部局内においてご検討の周知もよろしくをお願いします。

【植島副市長】 AI や RPA、電子申請等については、ICT 推進本部会議等においても市長から積極的に導入していくようお願いをいただいております。市民に寄り添い、業務を進めるためにも、事務手続き等については、できる限り簡素化・効率化していくことが重要です。また、各業務の中で ICT を活用して効率化できないかという提案についても、ICT 推進室に遠慮なく相談していただきますようお願いします。部局長のリーダーシップのもと、職員がこのような ICT に関する提案ができるよう、支援をお願いします。

4 八尾市職員数管理目標の策定について

総務部長

人口減少、少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少する中、限られた財源とマンパワーで対応し、持続可能な行財政運営を進めることがこれまで以上に求められていることから、中長期的な観点で効率的な組織体制の構築するため、具体的な数値目標を定める「八尾市職員数管理目標」を策定しました。

内容については、まず職員数管理目標の基本的な考え方としては、府内中核市との職員数比較において、将来的なめざすべき方向性として、その中位をめざすこととし、その第1期目として、令和7年度を目標年次とする「職員数管理目標」を設定します。

次に、目標職員数についてですが、令和7年4月1日時点の普通会計部門職員数の目標職員数を1,691人とするものです。

次に、人件費管理指標についてですが、令和7年度決算時に想定する退職手当を除く普通会計ベースの人件費を170億円とするものです。

次に、これらの目標を実現するための具体的な取り組みとして、事務事業及び業務の実施手法・プロセス等の見直し、ICT の活用、公民協働の推進、適切な人員配置及び職員の育成、多様な任用制度の活用・構築、超過勤務の縮減に取り組んでいくものとします。

なお、職員数管理目標等の実現にあたっては、単なる職員数を減ずる目標を定めるものではなく、長時間労働の是正やワーク・ライフ・バランスの観点等から、職員の負担に転嫁することなく、働きがいのある職場の構築との両立をめざし進めることとしており、各部局におかれても、事務事業の廃止、見直しや業務の効率化への取り組みをより一層進めていただくよう、よろしくお願いいたします。

当目標については、ホームページ及び共通ライブラリに掲載することとしておりますので、所属職員への周知についてもよろしくお願いいたします。

【魅力創造部長】 普通会計ベースの人件費の積算においては、市により設置状況の異なる外郭団体の職員数等は見込まれているのか、カウントの方法について教えていただきたい。

【総務部次長】 定年延長や水道局の広域化など不確定な内容については、盛り込んでおりませんので、内容が確定しだい必要に応じて計画変更を検討させていただきたいと考えています。

【植島副市長】 計画そのものは、中核市の中位を目指す目標を設定するもので、退職者不補充等により職員の減員を進めていくこととなります。しかし、単に職員を減らすというのではなく、業務量を減らし、仕事の手法を効率化することで、職員数が減っても業務を進めていける体制を構築することが目標です。そのため、この計画がスタートであり、この計画の趣旨を十分理解し、業務のスクラップや効率化等にしっかりと取り組んでいただきますよう、お願いします。

5 令和4年度課長補佐昇任考査の実施について

総務部長

本年度の課長補佐昇任考査を、「職員昇任考査案内」のとおり実施しますので、対象者への周知をお願いします。机上に対象者一覧と職員昇任考査案内を配付しておりますが、対象者がいない部局については、職員昇任考査案内のみ配布していますのでよろしくお願いします。

なお、課長補佐昇任考査については、事前研修を含め、自己啓発・自己学習の契機となること、また、管理職に昇任するにあたっての自覚を促す手段として効果的であり、人材育成と組織の活性化を図る目的があると考えています。

令和4年度管理職昇任考査の主な実施内容としましては、昇任考査内申における評定について、係長として部下職員のマネジメント経験を通じ、将来の管理職として、所属マネジメントを発揮し、部下職員の人材育成を支援していくことにより、組織パフォーマンスを高めていくことができる能力・素養を備えているかという視点を充実させ、人事評価制度との連動性を高めてまいります。

次に、昇任考査の実施要領について、日頃の業務に対する評価を重視する目的から、昨年度、受験回数ごとの加算制度を廃止し、筆記試験の結果と内申の評価について、内申の評価比率を高めたところであり、経過措置についても廃止となります。

また、2次考査においては、昨年度と同様に内申点と面接試験の合計点数で総合判定し、最終合格者を決定します。

なお、評価スキルを高め、評価者によってバラツキのない公平な評価となるよう、今年度も評価者研修を予定しております。映像配信の研修を予定しており、今年度は受講対象者を係長級以上の評価者となる職員全員としておりますので、対象となる職員は必ず受講していただきますよう、よろしくお願いします。なお、詳細については後日別途通知させていただきます。

各部局長におかれましては、より多くの対象者がチャレンジできるよう十分な周知・勧奨をお願いします。

【植島副市長】 係長以下の職員にとっては、管理職になるためのチャレンジの場となります。昇任考査の制度改正により、日常的な業務の評価（内申の評価）に重点を置くことになっていますが、評価者の皆さんには、評価者研修を受講していただき、公正・公平な評価をしていただきますよう、よろしくお願いします。

また、最近では、受験対象者の6割程度が受験しているとのことですが、さらに多くの受験対象者にチャレンジしていただくよう、積極的な勧奨をお願いします。

6 第45回八尾河内音頭まつりについて

魅力創造部長

第45回八尾河内音頭まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となり、会場を久宝寺緑地から近鉄八尾駅周辺の商業施設等に移し、9月19日（月・祝）の1日開催で決定しています。

開催場所、開催内容につきましては、資料のとおりですが、現時点でまだ検討中のものも多く、

今後詳細な内容が決定しだい、部長会や全課メール等でご報告させていただきます。

また、例年多くの職員の皆さまにご協力いただいておりますが、今回は開催手法が異なること、コロナ対策に多くの職員が従事していること等から、現時点では職員応援は求めず、実行委員会のスタッフ等での対応を想定しています。

また例年パレードにご参加いただいている職員連、議員連につきましては、規模縮小のため河内音頭グランプリへの出演は控えていただくようお願いをさせていただきます。

なお、大阪府から大規模イベント開催に際しての府民等への要請が出ていますが、現時点では感染対策を徹底しての開催を予定していますが、今後の状況によっては、開催内容等に変更がある場合もありますので、ご承知おきください。よろしくお願いいたします。

特に意見なし

その他として、保健所長から本市の新型コロナウイルス感染症の状況について、選挙管理委員会事務局長から、参議院議員通常選挙の報告とお礼があった。

最後に植島副市長から以下の発言があった。

職員の陽性者、濃厚接触者が多くなっているが、部局長のリーダーシップのもと、業務の優先順位をしっかりと付けて、市民サービスに影響が出ないよう取り組んでいただきますようお願いいたします。保健所業務については、これまで ICT の活用や外部委託等を進めてきましたが、600～700件というこれまで経験したことのない件数となっているため、土曜日から健康福祉部、本日から全庁的な応援を開始したところです。酷暑の中であり、職員の皆様は健康に留意し、しっかりとリフレッシュしながら、応援や担当業務に取り組んでいただきますようお願いいたします。